

ひまわりだより



病児・病後児保育室「ひまわり」をご利用ありがとうございます。
朝方には布団をもう1枚かけてあたたかく眠りたい気温になりました。ちょっとした冷えから崩れる体調のサインに先回りできるといいですね。

子どもと身近な植物の毒

今年は密を避けて川や野山へのキャンプなどのレジャーが多いと聞きました。これから紅葉狩りを計画されるかたもいらっしやるかと思います。小さな赤い実を見つけて、そっとポケットに入れたり、おままごとの素材にして遊んだりする子どもの姿を見ると身近な体験はとても大切です。しかし下のよう
な植物にはご注意ください！！

ようしゅうやまごぼう



赤紫の太い茎にブドウ状のブルーベリーほどの実をつけます。背丈は1メートルくらい。実を食べると下痢、腹痛を起こします。(戸山公園の箱根山で撮影)

まむしぐさ



秋の野山で見かける20センチほどの茎の先に実る赤い実はかすかに甘みがあるとか。口にすると針に刺されたような激痛とともに唇が腫れます。

ぎんなん、いちょう



臭い外果皮は触るとかぶれることがあります。ぎんなんは通常食用ですが一度に多く食べると、下痢、呼吸困難、けいれんなどを起こすことがあります。

★病児・病後児保育室ひまわりのご利用には事前登録が必要です★

登録会は11月7日(土)9~17時、12月4日(金)夕方を予定しています。

詳しくはホームページの登録会のお知らせをご覧ください。予約制ですのでお早めに！